



モリヤマ テルアキ

森山 央朗

Teruaki MORIYAMA

講演

研修

学術調査

コメンテーター

所属・職名

神学部神学科 准教授

研究分野

西アジア、ムスリム社会史

研究活動

中世西アジア・ムスリム社会におけるウラマー(イスラーム宗教知識人)、特に、ハディース(預言者ムハンマドの言行に関する伝承)を専門的に取り扱うハディース学者の知的実戦と社会的影響力を社会史的に研究している。あわせて、現代中東・イスラーム諸国の社会、文化、政治の動向にも目を配り、ウラマーとイスラーム主義者の政治的・社会的影響力とその背景を分析している。

主要な業績
(著作・論文・研究
発表)

「イスファハーンの2篇の「歴史」:ハディース学者が同じような著作を繰り返し編纂した理由」『東洋史研究』72-4(2014年)
「シリアのプレ・モダンな社会構造とポスト・モダンな状況:名望家の持続と変質」平成25年度外務省外交・安全保障朝研究事業(総合事業)『グローバル戦略課題としての中東:2030年の見通しと対応』、公益財団法人日本国際問題研究所(2013年)

社会活動・その他

2015年4月から日本中東学会事務局長
『日本経済新聞』の連載コラム「中東:解けないパズル」(2)で、チュニジアとエジプトの状況を分けた要因についてコメント(2014年12月12日)
千葉県野田市南部 梅郷公民館主催事業「平成 24 年度梅郷ふれあい大学」第1回講演「中東・イスラーム諸国が抱える問題と背景にある歴史と文化」

所属学会

日本中東学会、歴史学研究会、北米中東学会、史学会、日本イスラム協会、日本オリエント学会

キーワード

西アジア古典ムスリム社会、イスラーム宗教諸学、ハディース学、ウラマー、ハディースの徒、地方史人名録

https://kenkyudb.doshisha.ac.jp/rd/html/japanese/researchersHtml/113018/113018_Researcher.html